

## 令和2年度リスク管理取組報告

リスク管理委員会

委員長 岸 千秋

独立行政法人日本スポーツ振興センターにおけるリスク管理の推進を図るため、令和2年度においては、「リスク管理の基本方針」（以下「基本方針」という。）に基づき「令和2年度リスク管理基本計画」（以下「基本計画」という。）を定め、以下の取組を実施した。

## 1 リスク管理委員会の開催

以下のとおり、リスク管理委員会を開催し、アクションプログラムの策定及びリスク対策の実施状況の確認等を行った。

第1回	令和2年6月25日 (書面審議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度リスク管理アクションプログラムの実施状況について</li> <li>リスクの見直しと令和2年度リスク管理基本計画について</li> <li>令和2年度リスク対策の実施状況・実施結果のモニタリングについて</li> </ul>
第2回	令和2年8月14日 (書面審議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度リスク管理工程について</li> <li>令和2年度リスク分析シート修正について</li> <li>令和2年度リスク管理アクションプログラムの策定について</li> </ul>
第3回	令和2年8月25日 (書面審議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報セキュリティリスク」に関するリスク管理の在り方見直しについて</li> </ul>
第4回	令和2年12月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度リスク管理アクションプログラム実施状況(中間)の確認</li> <li>情報セキュリティリスク管理の実施状況(中間)の確認</li> </ul>
第5回	令和3年3月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度リスク管理アクションプログラムの実施状況(3月末時点見込み)について</li> <li>リスクの見直しと令和3年度リスク管理基本計画について</li> </ul>

## 2 令和2年度重点対応リスク

リスクの再評価の結果を踏まえ、令和2年度において重点的に対策を実施・検証するリスク（重点対応リスク）を以下のとおり定めた。

## (1) 支援業務プロセス

- ① 「情報管理・情報システム」領域のうち、原則としてリスク算定値6以上のリスク

- ②「経営・財務」領域のうち、原則としてリスク算定値6以上のリスク
  - ③「労務・人事」領域のうち、原則としてリスク算定値6以上のリスク
- (2) 基幹業務プロセス
- ①「代々木競技場耐震改修」領域のうち、原則としてリスク算定値8以上のリスク
  - ②「スポーツ施設の運営・管理」領域のうち、原則としてリスク算定値8以上のリスク
  - ③「スポーツ振興のための助成」領域のうち、原則としてリスク算定値8以上のリスク
  - ④「災害共済給付及び学校安全支援」領域のうち、原則としてリスク算定値8以上のリスク
- (3) 外部環境リスク
- 「自然災害・事故・感染症等」領域のうち、原則としてリスク算定値8以上のリスク

### 3 各部署におけるリスク対策の実施

上記2の「重点対応リスク」及びリスク算定値（※）6以上又は影響度4のリスクについて、担当部署において「令和2年度リスク管理アクションプログラム」を策定し、年度を通じてリスク対策を実施した。

（※リスク算定値 …「A 発生可能性」を1～3の3段階、「B 影響度」を1～4の4段階で評価し、A・Bを乗じて算出。）

### 4 各部署におけるリスク対策の実施状況の検証・モニタリング

上記3のリスク対策の実施状況について、重点対応リスクに関しては、リスク管理委員会において12月に検証・フォローを実施し、その他のリスクに関しても、各部署における自主点検・自己評価の結果を同時に委員会において確認した。

3月末時点で、アクションプログラム総数の約95%が完了した。（別紙参照）